

I 類

保健師専門問題

令和2年度施行 特別区職員 I類採用試験

指示があるまで開いてはいけません。

注 意

- 1 問題は、〔問題1〕から〔問題3〕まで3題です。全問必須解答です。
- 2 解答は解答用紙に記入してください。問題に記入しても採点しません。
- 3 解答時間は1時間です。
- 4 問題の内容に関する質問には、一切お答えしません。
- 5 問題は持ち帰ってください。

特別区人事委員会

〔保健師 問題1〕

次の問(1)～(3)に答えよ。

- (1) 次の文は、ヘルスプロモーションに関する記述であるが、文中の空所ア～カに該当する語を解答欄に記入せよ。

WHOは、1986年にカナダの [ア] で第1回ヘルスプロモーション国際会議を開催した。そこで採択された [ア] 憲章の中で、「ヘルスプロモーションとは、人々が自らの健康を [イ] し、改善することができるようにするプロセスである」と定義された。

[ア] 憲章には、ヘルスプロモーションの活動として、①健康的な公共 [ウ] づくり、②健康を支援する環境づくり、③ [エ] 活動の強化、④ [オ] 技術の開発、⑤ヘルスサービスの [カ] の5つが挙げられている。

- (2) 次の文は、健康相談のプロセスに関する記述であるが、文中の空所A～Cに該当する語を解答欄に記入せよ。

健康相談には、 [A] の構築、問題の把握、相談者の [B] 確認、問題解決に向けた支援、記録、 [C] のプロセスがある。

- (3) 次の①、②は、職場のメンタルヘルス対策に関する記述であるが、文中の空所a～eに該当する語を解答欄に記入せよ。

① 厚生労働省は平成18年3月に「労働者の [a] の健康の保持増進のための指針」を定め、「 [b] ケア」、「 [c] によるケア」、「事業場内産業保健スタッフ等によるケア」、「事業場外資源によるケア」の4つのケアを推進している。

② 平成27年12月から、事業者に実施が義務付けられた [d] チェックは、労働者に [d] への [e] を促すとともに、職場環境の改善につなげることで、労働者のメンタルヘルス不調の未然防止を目的としている。

〔保健師 問題2〕

次の問(1)、(2)に答えよ。

(1) 次の①～⑥は、疫学に関する記述であるが、文中の空所ア～カに該当する語を解答欄に記入せよ。

- ① 疾病の要因には、生活習慣、経済、教育などの環境要因や、性、年齢、遺伝などの
ア 要因がある。
- ② イ 研究とは、集団を曝露群と非曝露群に分けて長期にわたり追跡し、疾病の発生状況を比較するものである。
- ③ ウ 研究とは、集団を単位として、曝露と疾病頻度との関連を検討するものである。
- ④ エ 研究とは、一時点における曝露と疾病発生との関連を調べるものである。
- ⑤ 曝露要因と疾病の両方に関連する別の要因を オ 因子という。
- ⑥ オ の制御には、対照群を選定する際、性別や年齢などを患者群と一致させる
カ や、無作為化、限定などがある。

(2) 有病率5%の集団に感度が82%、特異度が94%のスクリーニング検査を実施したとき、次の問①、②に答えよ。

- ① 集団を1,000人として、4分表を完成させよ。
- ② ①の4分表から、陰性反応的中度を求めよ。

〔保健師 問題3〕

次の問(1)～(3)に答えよ。

(1) 次の①～⑥は、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）の基本理念に関する記述であるが、文中の空所ア～オに該当する語を解答欄に記入せよ。

- ① 全ての国民が、障害の有無にかかわらず、等しく基本的 を享有するかけがえのない個人として尊重されるものであるとの理念
- ② 全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に と個性を尊重し合いながら する社会を実現
- ③ 可能な限りその身近な場所において必要な支援を受けられること
- ④ の機会の確保
- ⑤ どこで誰と生活するかについての選択の機会が確保され、地域社会において他の人々と することを妨げられないこと
- ⑥ 社会的 の除去

(2) 次の文は、介護保険制度に関する記述であるが、文中の空所A～Eに該当する語又は数値を解答欄に記入せよ。

介護保険の保険者は、 及び特別区である。被保険者は 歳以上の者で、 歳以上の第1号被保険者と、 歳以上 歳未満の医療保険加入者である第2号被保険者に分けられる。第2号被保険者は、 に起因する疾病（特定疾病）に罹患し、要介護状態又は 状態にあると判断された場合にサービスを受けることができる。

(3) 次の①、②は、ノロウイルスに関する記述であるが、文中の空所a～eに該当する語又は数値を下の語又は数値群から1つずつ選び、その記号を解答欄に記入せよ。

- ① ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、一年を通して発生しているが、特に に流行する。感染性胃腸炎は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）で、 類感染症に分類される。
- ② ノロウイルスの潜伏期間は で、主な症状は、吐き気、おう吐、下痢である。感染予防には、加熱や による消毒が有効であり、 の原液の濃度が6%の場合、 倍に希釈すると200ppmの消毒液となる。

<語又は数値群>

ア 塩化ベンザルコニウム イ 夏季 ウ 次亜塩素酸ナトリウム エ 冬季
オ 1～2日 カ 2～7日 キ 4 ク 5 ケ 30 コ 300